

農産物の残留農薬検査結果（令和5年6月）

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。

今回は、令和5年6月に各区福祉保健センター及び医療局食品専門監視班が収去した市内産農産物の検査結果を報告します。

ばれいしょ8検体、こまつな5検体、にんじん4検体、きゅうり3検体、キャベツ、トマト及びレタス各2検体、だいこんの根及びブロッコリー各1検体の計28検体について検査を行いました。

検査の結果を表1に示しました。こまつな3検体、きゅうり、トマト、にんじん、ブロッコリー及びレタス各1検体から延べ12項目の農薬が検出されましたが、基準値を超えたものではありませんでした。

検査項目及び検出限界については表2に示しました。

表1 市内産農産物の残留農薬検査結果 (令和5年6月)

農産物	検査検体数	農薬検出検体数	検出農薬名	検出値 (ppm)	基準値 (ppm)
キャベツ	2	0			
きゅうり	3	1	クロルフェナピル	0.02	0.5
			シアゾファミド	0.01	0.7
			ボスカリド	0.02	5
こまつな	5	3	シアゾファミド	0.05	15
			ジノテフラン	0.12	10
			シアゾファミド	0.80	15
			ジノテフラン	0.02	10
だいこんの根	1	0			
トマト	2	1	ジノテフラン	0.04	2
にんじん	4	1	ジノテフラン	0.02	1
ばれいしょ	8	0			
ブロッコリー	1	1	チアメトキサム	0.02	5
			ファモキサドン	0.02	3
レタス	2	1	ジノテフラン	0.01	25

注) 中括弧 () はそれぞれ同一検体から検出されたもの

表2 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出限界 (ppm)	農産物					農薬名	検出限界 (ppm)	農産物				
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E
BHC (α、β、γ及びδの和)	0.005	○	—	—	—	○	エトフェンプロックス	0.01	○	○	○	○	○
DDT (DDE、DDD、DDTの和)*	0.005	○	○	○	○	○	エポキシコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
EPN	0.01	○	○	○	○	○	エンドスルファン(α及びβの和)	0.005	○	○	○	○	○
アクリナトリン	0.01	○	○	○	○	○	オキサミル	0.01	○	○	○	○	○
アセタミプリド	0.01	○	○	○	—	○	カルバリル	0.01	○	○	○	○	○
アセフェート	0.01	○	○	○	○	○	カルプロパミド	0.01	○	○	○	○	○
アゾキシストロビン	0.01	○	○	○	○	○	クミルロン	0.01	○	○	○	○	○
アラクロール	0.01	○	○	○	—	○	クレソキシムメチル	0.01	○	○	○	○	○
アルドリン及びディルドリン	0.005	○	—	○	—	○	クロチアニジン	0.01	○	○	○	○	○
イソキサチオン	0.01	—	○	○	○	○	クロマフェノジド	0.01	○	○	○	○	○
イミダクロプリド	0.01	○	○	○	○	○	クロルピリホス	0.01	○	○	○	○	○
インドキサカルブ	0.01	○	○	○	○	○	クロルピリホスメチル	0.01	○	○	○	○	○
エトキサゾール	0.01	○	○	○	○	○	クロルフェナピル	0.01	○	○	○	○	○

表2(続き) 農薬の検査項目及び検出限界

農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物					農薬名	検出 限界 (ppm)	農産物				
		A	B	C	D	E			A	B	C	D	E
クロルプロファム	0.01	○	○	○	○	○	フェニトロチオン	0.01	○	○	○	○	○
クロロクソン	0.01	○	○	○	○	○	フェノブカルブ	0.01	○	○	○	○	○
シアゾファミド	0.01	○	○	○	○	○	フェンクロルホス	0.01	○	○	○	○	○
シアノフェンホス	0.01	○	○	○	○	○	フェンスルホチオン	0.01	○	○	○	○	○
シアノホス	0.01	○	○	○	○	○	フェントエート	0.01	○	○	○	○	○
ジエトフェンカルブ	0.01	○	○	○	○	○	フェンバレレート	0.01	○	○	○	○	○
ジコホール	0.01	○	○	○	○	○	フェンピロキシメート	0.01	○	○	○	○	○
ジノテフラン	0.01	○	○	○	○	○	フェンブコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
シハロリン	0.01	○	○	○	○	○	フェンプロパトリン	0.01	○	○	○	○	○
ジフェノコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	フサライド	0.01	○	○	○	○	○
シフルトリン	0.01	○	○	○	○	○	ブタフェナシル	0.01	○	○	○	○	○
シフルフェナミド	0.01	○	○	○	○	○	ブプロフェジン	0.01	○	○	○	○	○
シプロコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	フルジオキシニル	0.01	○	○	○	○	○
シペルメリン	0.01	○	○	○	○	○	フルシトリネート	0.01	○	○	○	○	○
ジメトエート	0.01	○	○	○	○	○	フルトラニル	0.01	○	○	○	○	○
ジメトモルフ	0.01	○	○	○	○	○	フルバリネート	0.01	○	○	○	○	○
シラフルオフェン	0.01	○	○	○	○	○	フルフェノクスロン	0.01	○	○	○	○	○
ダイアジノン	0.01	○	○	○	○	○	フルリドン	0.01	○	○	○	○	○
ダイムロン	0.01	○	○	○	○	○	プロシミドン	0.01	○	○	○	○	○
チアクロブリド	0.01	○	○	○	○	○	プロチオホス	0.01	○	○	○	○	○
チアメキサム	0.01	○	○	○	○	○	プロパホス	0.01	○	○	○	○	○
テトラコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	プロピコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
テブコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	プロピザミド	0.01	○	○	○	○	○
テブフェノジド	0.01	○	○	○	○	○	プロモプロピレート	0.01	○	○	○	○	○
テブフェンピラド	0.01	○	○	○	○	○	ヘキサコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
テフルトリン	0.01	○	○	○	○	○	ヘプタクロル(エポキシドを含む)	0.005	○	—	—	—	○
トリアゾホス	0.01	○	○	○	○	○	ペルメリン	0.01	○	○	○	○	○
トリコナゾール	0.01	○	○	○	○	○	ベンコナゾール	0.01	○	○	○	○	○
トリフルラリン	0.01	○	—	—	—	○	ベンシクロン	0.01	○	○	○	○	○
トリフロキシストロピン	0.01	○	○	○	○	○	ベンゾフェナップ	0.01	○	○	○	○	○
トルクロホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	ベンダイオカルブ	0.01	○	○	○	—	○
トルフェンピラド	0.01	○	○	○	○	○	ボスカリド	0.01	○	○	○	○	○
ノバルロン	0.01	○	○	○	○	○	ホスチアゼート	0.01	○	○	○	○	○
パラチオン	0.01	○	○	○	○	○	マラチオン	0.01	○	○	○	○	○
パラチオンメチル	0.01	○	○	○	○	○	マイクロブタニル	0.01	○	○	○	○	○
ビフェントリン	0.01	○	○	○	○	○	メタミドホス	0.01	—	○	○	—	○
ピリダベン	0.01	○	○	○	○	○	メタラキシル及びメフェノキサム	0.01	○	○	○	○	○
ピリプロキシフェン	0.01	○	○	○	○	○	メチダチオン	0.01	○	○	○	○	○
ピリミカーブ	0.01	○	○	○	○	○	メキシフェノジド	0.01	○	○	○	○	○
ピリミノバックメチル	0.01	○	○	○	○	○	メトラクロール	0.01	○	○	○	○	○
ピリミホスメチル	0.01	○	○	○	○	○	リニューロン	0.01	○	○	○	○	○
ファモキサドン	0.01	○	○	○	○	○	リンデン(γ -BHC)	0.005	○	○	○	—	○
フィプロニル	0.002	○	○	○	○	○	ルフエヌロン	0.01	○	○	○	○	○
フェナリモル	0.01	○	○	○	○	○	レナシル	0.01	○	○	○	○	○

農産物の種類 A:こまつな、トマト、にんじん、ブロッコリー B:キャベツ、レタス C:きゅうり D:だいこんの根 E:ばれいしよ

○:実施、—:実施せず

*DDTは p,p' -DDE、 p,p' -DDD、 o,p' -DDT及び p,p' -DDTの和

【 理化学検査研究課 微量汚染物担当 】